

科目名	医療コミュニケーション学演習 [科目番号：41718122]		
ターム	S2	単位数	2単位
曜日・授業時間帯	水曜3-4限		
場所	医学部教育研究棟13階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担当教員	石川ひろの 岡田昌史 他		
授業の目的	効果的な医療コミュニケーション(ヘルスコミュニケーション)を行うために必要なスキルを、対人コミュニケーション、メディアを通じたコミュニケーションそれぞれ具体的に uptake、演習を行うことによって、「医療コミュニケーション学」の講義で学んだ理論や方略に対する理解を深めるとともに、具体的な医療コミュニケーションの場(医療機関、官公庁、教育機関、研究機関、患者支援組織、マスコミ等)でこれらを生かすことができるようにすることを目的とする。		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> 各回、課題にもとづいて演習・発表・討論を行う。 演習毎にプレゼンテーション、レポート提出、相互評価等を行う。 		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	6月7日(水) 13:00-16:40	文書によるコミュニケーション 行動変容を促す保健医療文書を作る	石川ひろの 奥原剛
	6月14日(水) 13:00-16:40	インターネットによる情報発信 インターネット演習(1) 注意：ノートPC持参	石川ひろの 岡田昌史
	6月21日(水) 13:00-16:40	自分を知る・相手を知る MBTI (Myers-Briggs Type Indicator) 演習(1)	園田由紀 (日本MBTI協会)
	6月28日(水) 13:00-16:40	自分を知る・相手を知る MBTI 演習(2)	園田由紀 (日本MBTI協会)
	7月5日(水) 13:00-16:40	自分を知る・相手を知る MBTI 演習(3)	園田由紀 (日本MBTI協会)
	7月12日(水) 13:00-16:40	メディア報道のあり方を考える メディアドクター演習	渡邊清高 (帝京大学)
	7月19日(水) 13:00-16:40	行動変容を支援するスキル コーチング演習	田口智博 (三重大学)
	7月26日(水) 13:00-16:40	インターネットによる情報発信 インターネット演習(2) 注意：ノートPC持参	石川ひろの 岡田昌史
教科書・参考書等	<ul style="list-style-type: none"> 田近秀敏：[実践]ビジネス・コーチング—プロフェッショナル・コーチの道具箱、PHP 研究所、2003 園田由紀(訳)：MBTIへの招待—C.G.ユングの「タイプ論」の応用と展開、金子書房、2002 梅田望夫：ウェブ進化論 本当の大変化はこれから始まる、ちくま新書、2006 		
成績評価の方法	演習への参加(50%)、演習内でのプレゼンテーション(20%)、作成した資料・レポート(30%)によって評価する。演習への参加が前提となるため、やむを得ず欠席する場合には、事前に事情を届け出ること。		
他の授業との関連	「医療コミュニケーション学」講義の受講が望ましい。		